

THE KOBECCHO 11

NOVEMBER 1979 NO. 223 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第3種郵便物認可
昭和54年11月1日印刷 通巻223号
昭和54年11月1日発行 毎月1回1日発行



 BENIYA



ひるがえ
美しさよ、翻れ!

《ベニヤ》はいま、異邦の薫り。



パリコレクションで話題をさらった
クリスチャン・ディオールの新作
シェード ファッション
SHAPED FASHION。

とくに肩を強調し、ウエストをはば
の広いベルトでマークする。

あのシェーブした新しいラインが
これからの主流です。

それこそあなたをときめかせ、翻
ささずにはおかぬフェアなニュー
ファッションが、いまラインアップ。

異邦の薫りにみちあふれる

《ベニヤ》でどうぞ。

 LADIES SHOP
the ladies fashion of the four seasons. creating

本店一神戸市生田区三宮センター街1丁目 ☎332-2135 KOBE・OSAKA

CHANEL
PARIS



- ハンドバッグ……188,000円
- スカーフ……………23,000円

いま、なぜ シャネルなのか。

20世紀の初めから、自由に活動できる女性の自立を考えていた、ココ・シャネルのファッション哲学は、時代を超えて鮮やかに生き続けてきました。そして、いま、80年代を前にした私たちの感性と、おだやかに共振する、シャネル・スタイル。当然のように、シンプルでエレガンス。神戸でもご覧いただけるようになりました。ただけようになりました。シャネルブティックオープン!!

●4階サロンド・グロ



サテンストライプシルクの
イブニングブラウス・スカート

- ブラウス……120,000円
- スカート……150,000円



神戸もとまち

大丸

(078)331-8121

粒選りの丹波栗を
手づくりでしあげた最高級の銘菓
新栗マロングラッセ



5 階	茶室「清月庵」、ゴルフルーム
3・4階	事務所
2 階	レストラン風月堂
1 階	和洋菓子・茶寮
地 階	風月堂ホール



神戸 風月堂

本社・神戸市生田区元町通3丁目195
☎(078)321-5555



布函

100D (40コ入) 10,000円

50D (20コ入) 5,000円

スケッチブックから

● 僕の見た神戸

その11 異人館通りにて



絵・西村 功



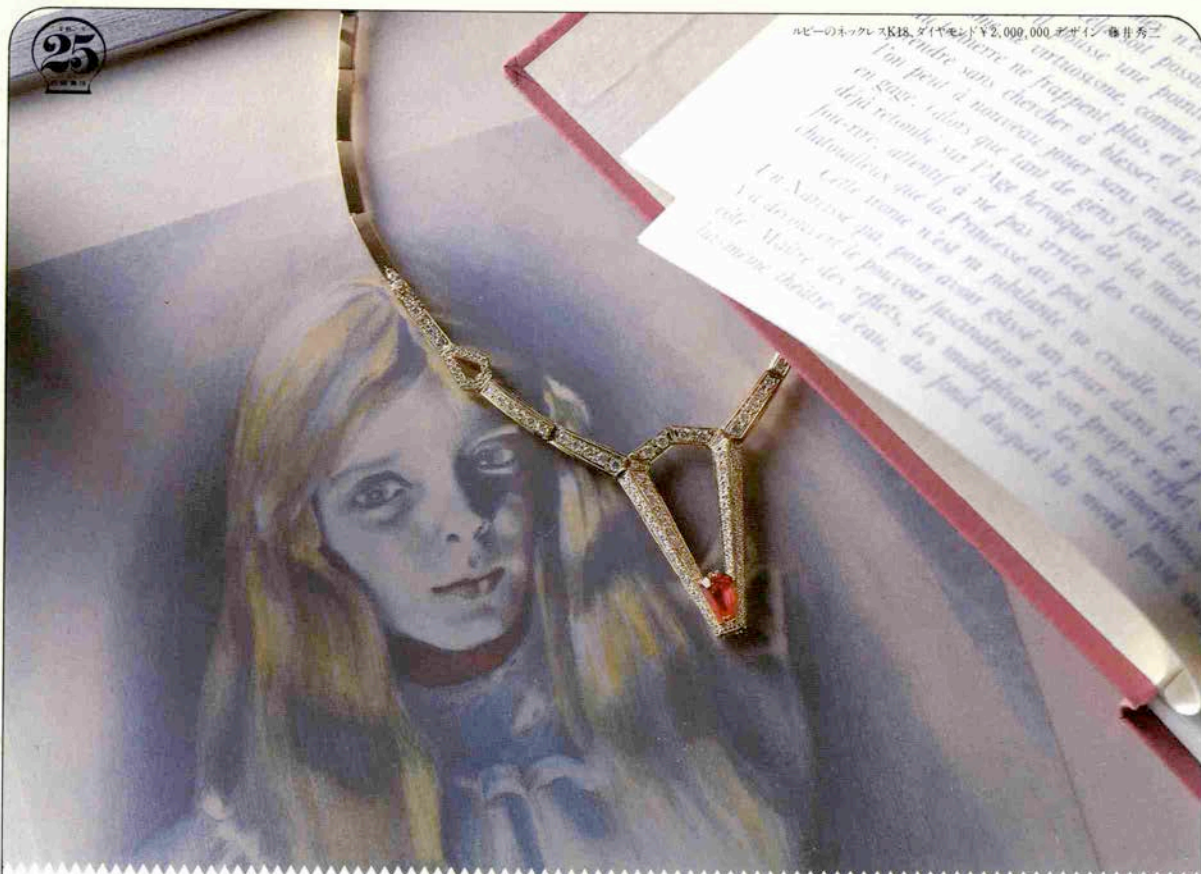
神戸割烹

お可山

〒650 神戸市生田区北野町1丁目115-2 ☎神戸 (078) 222-3511(代)

25
年

ルビーのネックレスK18、ダイヤセリド ¥2,000,000、デザイン 藤井秀



Designed By Tasaki
青春の赤い炎という心象風景は、いくつになっても消えない。その証拠のルビー。田崎真珠

札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡・香港・お郡・合わせ、カカクのご希望は、〒100 東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル内田崎真珠販売企画室TEL 03/580-1688までご連絡ください。 (a) あなたの真珠は、パールマークの店で、



キャッツアイ白金台ダイヤモンド

キャッツアイ

猫目石

自然の中でも

都会でも

キラリ閃光が走る

魅惑の石

鉄紺の

宇宙を駆ける

銀星に似て

...宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますのでお気軽にご利用下さい。
定休日は水曜日です

育て実力派プリマ——竹田恵美子（バレリーナ・上月倫子バレエスクール）

カメラ・米田定蔵

去る9月23日、兵庫県芸術文化祭洋舞合同特別公演が神戸国際会館で開かれ、「夢（ドン・キホーテ第2幕より）」で、ドン・キホーテ憧れのドルシネア姫を踊ったのが竹田恵美子さん。

4才でバレエを始め、ピアノや書道など、習いごとのうち続いていたのがバレエ。今、年々伸びを示している時期であり、鍛えるのに一番の時期である。そのなかで「何よりもバレエのことを真剣に思っている」彼女は、叙情性がある品のいい踊りをみせる。バレエではとても大切なことのひとつである。「お姫様役がよく似合う人だが、「ドン・キホーテ」のキトリのような激しい踊りもやってみよう」という。

週四回のレッスン以外は家でのもんがりしているという。バレエ以外に別になりたいという趣味はないという。現在武庫川女子短期大学の2年生。周囲は就職の話だが、竹田さんはバレエを続けるために就職はしないことに決めた。「することがある」という確かさをもっていることは強い。その強さを自信にして、さらに続け、さらに挑戦を重ねていくことだろう。そんな実力派に期待したい。（上月倫子バレエスクール上筒井教室にて）



デンマークの子供とお弁当



Katja Maria Salomonsen 8才
Senia Maria Salomonsen 5才

カーチャとセーニャはパパの仕事の関係で二年前から日本住まい、デンマークの子供らしいブロンドの髪のお行儀の良い子です。そのカーチャとセーニャが学校に持っていくお弁当は、黒パンのオープンサンドイッチ。サラミやソーセージやたまごをのせます。ドイツのお弁当によく似てるねというと、二人のパパはビールを飲みながらデンマーク特有のバーンの祭の話をしてくれました。

オーク・トゥリーを見ながら

北欧のデンマークは、春の訪れが待ち遠しい。風が暖まり始める5月頃突然一日にしてかしわの木が芽吹いて、まわりの景色を変える。これが春の訪れ。人々は(ちょうど日本のお花見のように)お弁当を持ちビールを持って「かしわ見」に出かける。これがデンマークの典型的な春のピクニックだ。



セーニャのお気に入りはこちらし寿し
(3百円より)

神戸・新神戸・六甲道

淡路屋

〒650 神戸市生田区相生町2

☎ (078) 351-1682

大衆に狂言の普及を

善竹孝夫

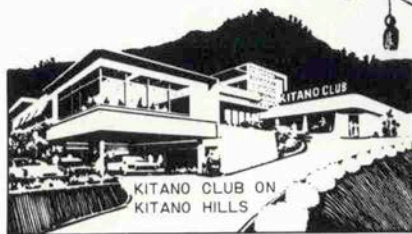
（大藏流狂言師）

カメラ・米田定蔵

室町時代に「庶民の笑い」として持て囃され完成された狂言を自分達の研鑽と若い人々も含めた一般に気楽に観てもらおうという普及のために、三月から「狂言座」が発足した。その主宰が大藏流の三本柱の一家、善竹忠一郎さんを尊父兼師とする善竹孝夫さんだ。叔父の善竹幸四郎さんの参画を得て、孝夫さんを中心に実弟の忠重さん、弟子の安東伸元さんが中心になり大阪市立北会館で毎月一回ずつ低料金で解り易い演し物を催すので毎回満員になり、ファンも定着してきた。「太郎冠者」という狂言座通信も発行し、公演地も明石、神戸と地域が広がっている。

十一月三日には、孝夫師、忠重師、善竹長徳師、同十郎師、大藏基嗣師、同基義師の六人の従兄同士で結成している「藏竹会」で五回目の狂言の会を大槻能楽堂で開く。現在、自宅の稽古場と大阪で狂言座研究生を教えているが、十一月からは新しくオープンした神戸能楽センターでも狂言教室を開校する。世襲制度に反抗した時期もあったということだが、狂言師というイメージからはほど遠く、誠実な芸の持ち主で物静かな真面目すぎる人柄に見うけられる。地道に続ける活動と確かな芸に将来を期待したい。昭和十五年生まれ。趣味はゴルフ。東灘区在住。（湊川神社能楽殿で）





エキゾチックな眼下のハーバーライト
北野ヒルならではのコウペの
ロマンをご満喫ください。

Kitano Club

レストラン ナイトクラブ
北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64 ☎ (078) 231-2251



年中無休駐車場有

restaurant
Blanc de Blanc

レストラン フラン ドゥ ブラン 神戸

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F ☎ (078) 321-1455

ある集い
 神戸大和楽の集い
 蘭の會



こころ美しい

日本の調べ 大和楽

大和楽とは――。

日本の新しい邦楽

大和は国のまほろば その名の如く美しい音楽――。

そして 大和楽と命名されました

九月二十七日の秋の夕べ。第二十二回のグリーンステージにとりあげられた日本の調べ「大和楽」の会は、神戸文化中ホールに満員の客を集めて、優雅な日本情緒の唄と三味線の美しい邦楽の世界を創り出した。

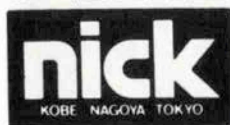
「大和楽」は、昭和八年にこのホールのある大倉山にゆかりの深い大倉喜七郎氏が、日本音楽の伝統の中から、西洋音楽の優れた面を吸収して、日本人の感性に相しい音楽をと創設した楽派。

約半世紀を経た今、「大和楽」は邦楽に、舞踊界に、新しい風を吹き込んだ。家元大和美世葵さんの優雅な女王のような風格ある歌を中心に、三味線と作曲の名手大和久満さんを理事長に、大和秀（理事）さんら東京勢も加って、地元神戸の歌の名手、大和三千世さん（蘭の会主宰）が、神戸の門下生を育て、約三十人東京・神戸の一門で、こころ美しい「大和楽」のハーモニーを披露した。

本文34頁を参照下さい（神戸文化ホールにて）



心の通う店創り



神戸日建

営業品目：商業施設全般 調査企画・店舗装備 設計施工

本社（設計室）	神戸市葺合区御幸通3丁目2-20	PHONE (078) 252-1321
神戸事業部	神戸市葺合区御幸通3丁目2-20	PHONE (078) 251-3525(代)
名古屋事業部	名古屋市西区牛島町5-5	PHONE (052) 561-3618
東京事業部	東京都中央区日本橋3丁目2-17	PHONE (03) 278-1369



テープカットをする菊水さんコウベ名店会会長と狩野神戸市助役



鏡割りをする多田神戸市土木局長

さんコウベ5周年に改装

国鉄神戸駅と高速神戸駅を結ぶ地下街さんコウベが5周年を迎えて改装オープン。9月20日に式典と5年間さんコウベに勤務した人たちの表彰式が行われた。関係者が集い5周年を祝うなか、狩野市助役、長島神戸地下街㈱専務らからお祝いの言葉が贈られた。

●コウベスナップ

井植文化賞受賞者を表彰

本誌8月号で既報の井植文化賞の受賞者表彰式が9月20日、井植記念館で開催。同賞は故井植歳男氏の遺志により設立された財井植記念会が文化芸術、科学技術、社会福祉、地域活動、報道出版の五部門にそれぞれ活躍をみた人を讃える文化賞で、今回が第4回。



故井植歳男氏の胸像の前に並ぶ各部門の受賞者



あいさつをする井植祐郎理事長



お祝にかけつけた

中井一夫氏が乾盃の音頭

イメージの神戸

〈32〉 中辻悦子

〈造形作家〉



なかつじ えつこ

大阪に生れる '62 / 現代日本美術展出品(大阪・東京)
'63 / 個展(東京画廊) '68 / 個展(今橋画廊) '71 / 個展
(ガレリアグラフィカ) '72 / 版画展(画廊みやさき)
'74 / 東京ビエンナーレ 個展(今橋画廊) '75 / 現代美術
50人展 '77 / 個展(今橋画廊) '78 / エリックサティ
人形オペラージュヌヴィエーヴ ドウ ブラバン伯爵
夫人のための人形制作、個展(今橋画廊) 在・宝塚。

三宮で降りて生田筋から東門筋をずっと上って行く。街はねむりからさめたばかりのまだぼやけた顔。それでも空気だけはみずみずしい朝の香りがする。北野町までのぼると急に表情が変わる。明かるくなつて陽気さが漂う。光と影がくつきりとする。西洋文化のおしゃべりがはじまる。北野町を往復して加納町からフラワーロードを突っ走しる。ポートアイランドへ。造成中の砂山がダイナミックな現代彫刻。海の国際線を行くコンテナの群が広い広い空間の中で無表情に林立している。その中を一度、二度、車が動く、人が動く、沈黙のすばらしい映像。神戸大橋を戻ってメリケン波止場から中突堤まで、多勢の港湾労働者が流通の窓口をささえる。大きなエネルギー。海岸通りから元町へ。もうネオンがついた街の表情は夜の顔。

「山と海 光と影 夢と現実がうまくとけ合った 昼間の神戸。なぜかそこだけはいつもカラリと明かるい 私の神戸。」

